

# 守谷ボランティア NEWS

2026 年 6 月号（毎月 1 日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター  
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘 5 丁目 25 番 1  
守谷市市民交流プラザ 2 階  
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320  
Email：supportcenter@moriya-cac.org  
ホームページ URL：https://moriya-cac.org/  
開館時間：午前 9 時～午後 5 時（午後 8 時まで延長可）  
休館日：月曜日、年末年始

## 小学生対象！夏休みもりや寺子屋 ※学習支援ボランティア募集中

学び、運動、礼儀、仲間を体験し、たくましく強い人間になろう！

- 定員 10人 ※2日間参加できる方のみ（超過の場合抽選）
- 参加費 無料 ●主催 守谷稲門会（早稲田大学校友会）
- 申込方法 7月8日(水)必着で、往復はがきに児童氏名(読み仮名)、性別、学校名、学年、電話番号を記入し、市民活動支援センター内もりや寺子屋宛に郵送で申し込む
- 問合せ 村田 ☎090-5395-2567
- 【日程・場所・内容】※両日とも10:00～12:00（集合9:30）  
7/30(木) 市民ギャラリー ショートテニス(運動着、タオル、水筒持参)  
7/31(金) 市民活動支援センター 夏休み課題、読書(副教材、読みたい本、筆記用具、水筒持参)

## 【市民活動とどけ隊】募集！

市民活動の現場に足を運び、想いや工夫、地域とのつながりを自分の言葉で発信する「市民ライター」を募集します。月に1団体取材し、記事作成とSNSの発信をしていただきます。自分のペースで作業し、ライフスタイルに合わせて取り組みます。

- 応募資格 市内在住・在勤・在学で市民活動やボランティア活動に興味がある方 ●業務期間 ～令和 9 年 3 月 31 日
- 募集人数 1 名 ●報酬 月 1 万円
- 申込方法 6/30(火)までに QR コードか HP で必要事項と応募動機を記入して申し込む
- 申込・問合せ先 市民活動支援センター



## MPA 0歳からの音楽会

0歳から入場できて、泣いても歩き回っても大丈夫な入退場自由なコンサート。英語音楽リミック、音楽付き絵本の読み聞かせ、手遊び歌、童謡、小さい頃に聴いて欲しいクラシック曲など親子で楽しんでください。

- 日時 7/5(日) 開場10:40 開演11:00
- 会場 国際交流研修センター ログハウス ●対象 0歳児から
- 定員 先着100名 ●参加費 大人1000円 子ども(0～18歳)無料
- 申込方法 6/20(土)～7/5(日)にQRコード/電話/メールから申し込む
- 主催・問合せ先 MPA(守谷ピアノ指導者協会)  
☎070-7612-8991 ✉mpa2024mpa@gmail.com



## 【講座】女性のキャリア相談

女性のライフステージや働き方は、人それぞれ。「もう一度、自分らしく働きたい」を一緒に寄り添いながら考え導きます。

- 日時 7月15日(水) 10:00～12:00 (受付 9:45～)
- 場所 市民活動支援センター 会議室
- 講師 山中 円香 ●参加費 無料 ●持ち物 筆記用具
- 定員 先着15名(女性限定・年齢不問)
- 申込方法 7月8日(水)までにメールまたはQRコードから申し込む  
✉hukukun0120@gmail.com



## 登録団体活動情報 6 月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
ほっとカモン もりやっ子食堂(子ども食堂)	文化会館	第 3 もしくは第 4 土曜日 10:20～終了次第	大塚 0297-45-6938
わんにゃん M's 動物愛護活動(譲渡会)	守谷市役所	第 2 日曜日 13:00～15:00	wannyan.emuzu@gmail.com
和太鼓 友 和太鼓の練習、イベント	もりりん北守谷 他	第 1・3 日曜日 12:00～16:00 他	加藤 090-7171-1274



学力では測れない「生きる力」として注目される

非認知能力。その育成に、地域との関わりが大きな役割を果たしています。異なる世代の人々と話す中で、子どもたちは相手の気持ちを想像し、言葉を選ぶ経験を積み重ねます。これは共感力やコミュニケーション能力の土台となります。また、地域の課題をテーマにした探究活動では、正解のない問いに向き合い、粘り強く考え抜く力、いわゆる「グリット」が自然と鍛えられます。商店街の方へのインタビュー、農家での収穫体験、地域行事へのボランティア参加。こうした本物の体験は、教室の中だけでは得られない「自分が社会とつながっている」という実感を子どもたちに与えます。その実感こそが、自己効力感や主体性を育む源になるのです。地域は、子どもにとって最大の教室です。学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが多様な人や場所と関わる機会をつくること、これからの教育やまちづくりに求められています。

## 助成金情報 \* 内容は変更になる場合があります。各 HP をご確認ください。

もりや 公益活動	7/10～8/9 令和 8 年度もりや公益活動助成金 2 次募集 もりや公益活動促進協会 https://moriya-cac.org/sokushin
社会教育	～7/1 【子ども支援団体向け】本寄贈プログラム 認定 NPO 法人チャリティーサンタ https://www.charity-santa.com/
医療・ 福祉	～7/3 2026 年度社会福祉助成金 公益財団法人 みずほ福祉助成財団 https://mizuhofukushi.la.coocan.jp/index.html



## こんにちは！守谷のボランティアさん

「高野まちづくりの会」の活動取材してきました

2026年5月3日(日曜) 10時00分～ @けやき台公園

第21回「高野まちづくりこいのぼりまつり」が開催され、多くの家族連れで賑わいました。

高野まちづくりの会は、当該地区の開発に伴い新住民が増加する中で犯罪も増加傾向にあり、「住民同士の融和の必要性を感じた」ことをきっかけに2004年度に設立された団体です。こいのぼりまつりも「地域住民同士がふれあう機会を作りたい」という思いからスタートしました。現在は、子どもたちの健やかな成長を願いながら、大人と子どもが交流できる世代間交流の場として、多くの人に親しまれています。



多くの来場者が足を止めて見入っていました。

会場には近くの交番からパトカーも来ており、実際に車両に触れる体験コーナーに子どもたちは大喜びです。



当日は朝からくもり空でしたが、子どもたちの元気な声が響き、温かな雰囲気に含まれていました。午前10時からセシモニーが始まると、約600匹のこいのぼりが大空を泳ぐ華やかな光景が広がり、何メートルもある大型こいのぼりには



まつりを長年支えてきた中で、忘れられないエピソードがあると代表の村田さんは話してくださいました。掲揚中の大型こいのぼりに子どもが掴まってしまい、約5メートルも巻き上げられてしまったことがあったそうです。幸い子ども

が手を離さなかったため大事には至りませんでしたが、まつりならではの思わぬ出来事として今も印象に残っているとのことでした。こうした経験もあり、現在は開催期間を通じて安全への注意喚起を徹底しているそうです。

第20回開催時には茨城県から表彰を受けるなど、地域に定着した行事となっています。第8回からは、設置場所をけやき台公園をスタートとする遊歩道ルートに移し、現在は松ヶ丘の遊歩道まで拡大しています。

現在、活動メンバーの多くは80歳代とのことですが、松ヶ丘小学校おやじの会との協力関係も生まれ、次の世代へとつながっていくことが期待されています。代表の村田さんは、「継続させること、そして次の世代へ引き継いでいけるよう仲間と頑張りたい」と話してくださいました。また、活動を通じて自身の健康づくりへの励みになっているとともに、仲間とともに達成感を味わえることが活動を続ける喜びだとも語ってくださいました。

地域住民同士がふれあう機会を作りたいという思いのとおり、地域のつながりと子どもたちの笑顔あふれる一日となっていました。



賑やかな雰囲気に。子どもたちが楽しそうに耳を傾ける姿も見られ、地域の温かなつながりが伝わってきました。

また、けやき台中学校吹奏楽部による演奏も行われ、「学園天国」や「ミッキーマウスマーチ」など親しみのある曲が会場に響き渡り、



<市民活動支援センター>